

教員用指導案

■ 前回までの内容

1. 課題研究について学ぶ
2. テーマ設定までの流れを体験する

■ 本時の目的

活動①②で学んだ手法をもとに、班ごとのテーマを決める（これから 1 年間の研究テーマ）

■ 事前連絡（担任から生徒へ）

1. 課題研究メソッド・課題研究ノートを持ってくる
2. 前回の課題（課題研究ノート p.2 にキーワードを最低 5 個記入）をかならず遂行しておくこと！
3. 参考資料があるとよい（選んできたキーワードに関連した web ページ、書籍 etc…）

■ 当日の配布物・掲示物

- ✓ マッピング用の新しい白紙（A3 1 枚） ←必要な班に配布
- ✓ マッピング用の付箋紙（1 束） ←必要な班に配布
- ✓

■ 本時の流れ ※各段階で押さえて頂きたい点を✓で示しました。

導入（5分）

1. 机を班の形にする。
2. 本時の内容を説明する。

展開1（20分）キーワードの発表・班テーマ決定

1. 個人で考えてきたキーワードを発表する（10分）
 - ✓ キーワードをひとりずつ発表する
 - ✓ キーワードを選んだ動機や背景なども発表するよう指示する
 - ✓ 発表した内容について、班内で相互に質問や提案を行う
質問例：「具体的にはどのような点を掘り下げたいのか」
提案例：「〇〇についての研究と関連があるのではないか」
2. 班で出たキーワードをもとに研究テーマを考える（10分）
 - ✓ 最初から一つに決めようとするより、選択肢を 3 つ残すようすすめる
 - ✓ 1 年間の研究テーマとするにふさわしい内容か吟味することが大事！
 - ✓ 基本的には、活動①②と同じステップを踏むだけなので、生徒主体で進めさせる

- ✓ テーマがなかなか決まらない班⇒メソッド p.32・33 を参考にさせる
- ✓ 決定したテーマは、班長の課題研究ノート p.8「研究テーマの決定」に記入しておく
※複数のテーマを検討していく際は、他の班員のノートも活用する

展開2（20分）リサーチクエストを考える

1. テーマをもとにリサーチクエストを導く
 - ✓ 活動①②のやり方になって、リサーチクエストを考える（生徒主体で）
 - ✓ テーマやリサーチクエストが定まらない班には、活動①②で行ったキーワードマッピングをしてみるようアドバイスする
（※マッピングは必須ではないので、スムーズに議論が進んでいる班はそのまま続けさせる）
2. リサーチクエストの掘り下げ
 - ✓ ノート p.12or13 に書き込みながらリサーチクエストを具体化させる
 - ✓ メソッド p.59「リサーチクエストのチェックリスト」を班で確認しながら見直し・修正

※展開2のあたりになると、班ごとの進度に差がつき始めると思いますので、1と2は時間で区切らず一続きで取り組ませてください。

まとめ（5分）

1. 次回の予告
 - ✓ 仮説の立て方を学ぶ
 - ✓ テーマ・リサーチクエスト・仮説をクラス内で発表する
2. 次回までの課題提示
 - ✓ 仮説を立てるために必要な資料
『ノートの 15 ページを開いて下さい。次回の授業ではこのページを埋めながら、リサーチクエストに対する答えの予想（＝仮説）とその根拠を考えてもらいます。何も検討材料がないと話し合いが進まないと思いますので、班の中で分担して参考資料を集めておいてください。本や web サイトからの情報だけでなく、研究したい内容に関連する教科の先生にお話を伺うのもよいでしょう。』
3. 次回の持ち物
 - ✓ 課題研究メソッド、課題研究ノート、参考資料

■ 備考

テーマを決めても、仮説や研究計画を立てていく過程で早々に行き詰まる可能性もあります。しばらくの間は、テーマを1つに絞らず3つほどを同時進行で考えていき、活動④が終わる段階で見込みのありそうなテーマをひとつ選ぶようにアドバイスしてください。